

当院では 4 月に CT を更新しました

CT 検査とは？

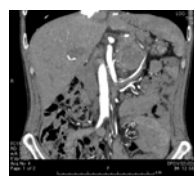
CT 検査とは、X 線を多方向から体に投射し、輪切りの写真を作成して診断を行う検査です。
 新しい機器は **MDCT** (多列検出器型 CT) を使用しており、輪切り以外の断面、3D 画像の作成も行っています。



輪切り画像 (腹部)



輪切り以外の断面 (左; 顔面 右; 腹部)



新しい CT (64 列 MDCT) の特徴

i) 撮影時間の短縮

従来の CT (4 列) と比べ、新しい CT は撮影時間を短縮することができます。そのため、64 列では、4 列の CT よりも息を止めていただく時間が **10 秒前後** 短くなり、患者さんの負担が少なくなりました。

ii) 被ばくの低減

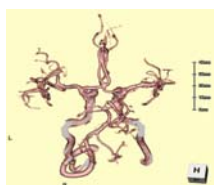
64 列 MDCT では従来よりも高性能の被ばく量を少なくする機能を搭載しています。この機能は、体格の大きい人や小さい人に応じて X 線量を変えることにより、過剰な被ばくを避けることができます。

iii) 適切なタイミングでの撮影

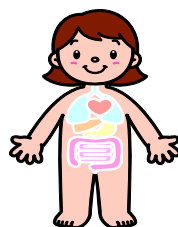
CT 検査では、検査の内容によって造影剤を使用することがあります。検査の内容によっては、造影のタイミングが重要となることがあります。64 列 MDCT では、造影検査中に造影剤の流れがリアルタイムで確認できるため、血流の速さに個人差があっても、適切なタイミングで撮影を開始することができます。

3D 画像

3D 画像は目的部位 (臓器及び血管系) を立体的な画像として認識することができ、他の部位との位置関係も色をつけることにより容易に把握することができます。



頭部 3D 画像



腹部 3D 画像

今後、この新しい CT の機能を使い、
 冠動脈の形態的評価、心機能の評価ができる
 検査 (心臓 3D 画像作成) を実施していくため、
 只今準備中です！！



心臓 3D 画像